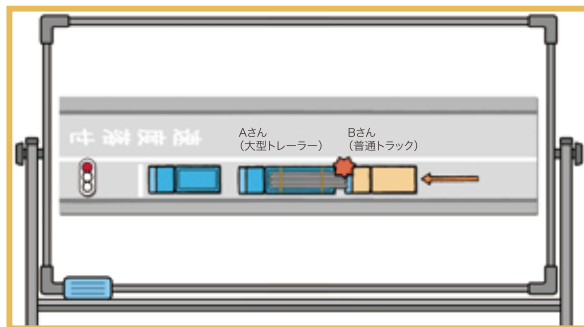


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に  
至るまでの  
状況

早朝、Aさん(男性、大型トレーラー)は、コンクリート製の電柱を積載して往復2車線の国道を走っていました。積み荷の電柱は後方に3mほどはみ出ている、はみ出た先端には赤旗と赤色灯をつけていました。前方のトラックが赤信号で止まったので、それに続いて停車。そのすぐあとに後方から衝撃音と振動があり、後ろを確認すると後続車のBさん(男性、普通トラック)が積載した電柱に追突していました。積み荷の電柱はBさんのトラックのキャビン突き破りました。

事故現場  
略図



## 事故の原因

Aさんのトレーラーに積んでいた電柱の先端には、赤旗と赤色灯がついていました。それにもかかわらず、Bさんは赤旗や赤色灯に気づかず停止するタイミング

を見取りました。その理由は、前日に2時間ほどしか寝ておらず、疲労の蓄積で居眠り状態に陥ってしまったためであると考えられます。

## 安全運転に向けて指導のポイント

車を運転することが分かっているときは、事前に体調を整えるようにしましょう。体調が悪い場合は休憩をとるなどして、回復させてから運転してください。

また、前方の車が積載物をオーバーハングさせている場合は、早めに認知し車間距離を十分にとるようにしましょう。

## 今月の安全メモ！

- ・運転するときは体調管理に気をつけて、疲れを感じたら無理せず休憩をとりましょう！
- ・前車のはみ出した荷物は危険と認識して、十分な車間距離をとって運転しよう！